

# 突撃インタビュー

編集部ハルちゃんが行く！

ハルちゃんって誰？



本誌の編集担当者。3月の連休初日にオケ仲間と日帰りスキーに行き、調子にのってすべりまくっていたら翌日激しい筋肉痛に。残りの休日は部屋の模様替えや衣替えをがんがんこなす予定だったのに、くつ下をはくにも悲鳴をあげる始末。結局残りの連休は「スターウォーズ」のC-3POみたいなぎくしゃくした動きで過ごす羽目に。結局墓参りしか達成できず、全体的に極めて地味な連休でございました…。

今回は、言わずと知れた日本を代表するトップメーカー、日産自動車にインタビュー。世界にはばたくNISSANブランドは、この横浜の地から誕生したそう。名機といわれるエンジンやユニークなシステムなど、色々教えていただきました！

第50回目 日産自動車 株式会社

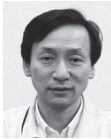
# NISSAN

(横浜工場)  
〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島1丁目1番1号  
TEL(045)523-5547 <http://www.nissan.co.jp>

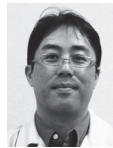
お話を伺った方



パワートレイン  
生産技術本部  
太田 泰披 氏



パワートレイン  
生産技術本部  
松山 秀信 氏



パワートレイン  
生産技術本部  
西村 公男 氏



パワートレイン  
生産技術本部  
長谷川 清 氏



パワートレイン  
生産技術本部  
田中 誠一 氏

## 今回のお題：エンジン

### 日産自動車、発祥の地

ハル：よろしくお祈りします。日本の自動車業界を牽引なさっている日産自動車さんですが、発祥の地がここ横浜だとは知らなかったです！

松山：そうですね。わが社は1933年、ここ横浜で「自動車製造(株)」として創立されました。翌年「日産自動車(株)」に社名を変更し、1935年に横浜工場組立1号車である「ダットサン14型」を生み出しました。車両の一環生産ラインを有した、日本で初めての自動車量産工場だったのですよ。

ハル：ダットサンって、その時代を扱った映画やドラマなどに「時代を象徴するもの」としてよく目にする自動車ですね！ 当時は市民の憧れの象徴だったのだろうなあ。ここから日本の自動車産業が発展していったと言っても過言ではありませんね。

ところで、ひとくちに横浜工場といってもかなり広い敷地をお持ちのようですが、現在はこういった構造になっているんですか？

太田：現在、横浜工場は3つの地区で構成され、エンジンやサスペンション部品を一環生産する主力ユニット工場となっています。いわば、エン

ジン生産のマザー工場ですね。

ハル：発祥の地だけあって、心臓部分を手がけておられるんですね！

### 日産エンジンミュージアム

ハル：ところで横浜工場の敷地内にはゲストホールや日産エンジンミュージアムがあると伺ったのですが、これはこういったものなのでしょうか？

長谷川：ゲストホールは「日産自動車株式会社 横浜第一号館（旧本社ビル）」として、2002年に横浜市から歴史的建造物に認定された建物です。

ハル：横浜らしい景観をつくり出している歴史的建造物に与えられる認定を受けているのですね。ホテルニューグランドやエリスマン邸のようにハイカラな建造物があるのは知っていましたが、それと同時に日本の産業を発展させていった御社の本社ビルも重要な歴史的価値をお持ちなのですね。

西村：現在はこのゲストホール内を日産エンジンミュージアムとして、最新型のエンジンやミニチュアカー、エンジンと車が動く仕組みなどを展示しています。横浜工場が操業を開

始した1935年製の7型エンジンをはじめ、29基の歴代エンジンを展示しています。市民の皆さまや小学校の社会見学など、多くの方にお越しいただいています。エンジン組立工場ラインの見学も、積極的にご案内しているんですよ。

ハル：今なお横浜のシンボルであり続けているのですね。クルマ好きな人にはたまらないだろうなあ。ところで当時のエンジンと現在のエンジンって、馬力はどれくらい違うものなんですか？

田中：たとえば1936年に横浜工場で作った「ダットサン15型ロードスター」（編集部注：近代化産業遺産の自動車）のエンジンは15馬力でしたが、GT-Rは480馬力です。

ハル：そ、そんなに違うんですか！

松山：エンジンは様々な変革を遂げていますからね。エンジンの名機という評価をいただいているわが社のVQエンジン('94～)は、94年から北米の「10 BEST エンジン賞」を受賞し続けています。14年連続で受賞しているのは、今のところわが社のVQエンジンだけなんですよ。

ハル：評価が厳しいであろう北米で、



**日産がめざす究極のゴールと3つの課題**

日産は「事業活動やクルマの走行時に生じる環境負荷や資源利用を、自然が吸収可能なレベルに抑えること」を究極のゴールとしています。「CO<sub>2</sub>排出量の削減」を最も重要な課題に据え、加えて「大気・水・土壌の保全」「資源循環の推進」を課題とし、工場や販売店、オフィスなどの多角的なアプローチによって、日産のビジネスが地球に残す影響を最小化していくことを目指しているそう☆

そこまで評価を受け続けているというのは、ものすごいことですね!

**熟練作業員(匠) 集団!**

ハル: エンジン組立をなさっている第二工場を見せていただきましたが工場内に人が少なくてびっくりしました!

長谷川: ロボットにより、ほぼ無人化されていますからね。エンジンの種類にもよりますが、だいたい2リットルの車で使用される部品の数は400~500くらい、エンジン組立を完了するまでのリードタイムは40分くらいです。横浜工場では主にガソリン用エンジンを担当し、ディーゼル用エンジンのほとんどは愛知でつくっているんですよ。

ハル: 1935年に創業した当時の技術者の方々が見たら感無量だろうなあ。でも、奥のほうにガラスで仕切られたブースがあって、そこにはけっこう作業されている方がおられたようですが...

西村: そのブースは「VR38型組立ルーム」といって、レーシングカー用エンジンをつくるいわば「工房」です。GT-Rのエンジン組立などを行っているんですよ。ここの作業員は「熟練作業員(匠) 集団」と呼ばれ、「準匠候補」「準匠」「匠」と熟練度にしたがって上を目指すシステ

ムになっています。

ハル: おおっ、エキスパート集団ということですね。そういえば作業員の背中にもそのデザインが入っていましたね。新入社員などにとっても憧れの集団なのだろうなあ。

長谷川: 人件費だけみれば、海外のほうが安くあがります。そこを敢えて日本で作るのであれば、「横浜工場でしか生み出せないレベル」の製品を手がけることで、若い作業員たちのモチベーションも高めていきたいですね。

西村: 一般にスポーツカーはガソリンを大量に使ってどんどん排気したほうが馬力が上がります。でもGT-Rは馬力があるうえ他車種にくらべて排気もクリーンなんですよ。こういった製品づくりを進め、この工場で生まれた製品がいつか「横浜工場モデル」と呼ばれるようになったらうれしいですね(笑)。

ハル: 目指したいものが明確で、かつ目標とする偉大な先輩である「匠」の方と一緒に作業できるということは、若い人たちからみてもとても張り合いがありますよね。ほかにも何か特徴はありますか?

太田: たとえばバルブを軽量化することで、ばねの加重も軽くできます。ば

ねの加重はエンジン回路を邪魔するため、軽くなることでエンジン回転がよりスムーズになるんですよ。加えて、フリクションはナノメートルオーダーの仕上げで手がけています。

**今後の展望は?**

西村: 日産自動車では現在、電気自動車への取り組みを進めています。「CO<sub>2</sub>排出量の軽減」をもっとも重要な課題のひとつに位置づけているわが社にとって、近い将来、電気自動車のリーディングカンパニーとしての地位を確立すべく研究開発を続けているんですよ。ムダな電気を使わず、ゼロ・エミッション車でリーダーとなるのが目標です。

松山: 材料としては「軽くて、安くて、強いもの」を目指すことですね。そこにブレイクスルー技術をどう入れ込んでいくかが課題です。

田中: 私は高エネルギー熱加工を担当していますが、新技術はなかなか現場に受け入れてもらえないことも多いのです。「いかに親近感を持ってもらうか」ということも含め、今後も日産自動車にしかできない技術提供をしていきたいですね。

**取材のあとのお楽しみ♪**

神奈川県藤沢市で生まれ育った私にとっては、横浜はほぼ地元♪ 中華街散策もいいけれど、今回は関内にあるお気に入りのナポリピザのお店に行くことにしました。フードライターをしている友人から「絶品!」と教えてもらった店だけあって、この店の味を知って以来、いまだにここよりおいしいナポリピザのお店を見つけることができないほど。前菜もおいしいので、うっかりするとピザにたどりつく前に前菜とワインでおなか一杯になっちゃうのが悩ましいところですが、今回は無事ピザも堪能できました♪うちの近所にあつたらおそらく通いつめて大変なことになったと予想されるので、ちょっと遠くて正解だったかも…(汗)。

**こんなモノ  
★見つけました★**



**ダットサン  
ロードスター15型**

1935(昭和10)年にこの横浜工場誕生した、ダットサンロードスター15型。威厳がありつつ優雅さもたたえたレトロな風貌! この車が当時のハイカラな横浜の町並みを走っていた風景は、さぞステキだっただろうなあ。う〜ん、一度でいいから乗ってみたい。日産エンジンミュージアムに行けば見られるので、ご興味がある方はぜひ足を運んでみてくださいね♪